

令和4年度さぬき市学校給食共同調理場施設整備検討委員会第2回会議 要旨

- 1 日 時 令和4年11月28日(月) 18:30～19:30
- 2 場 所 さぬき市寒川第2庁舎 203会議室
- 3 出席者 [委 員] 山下美穂 白井誠司 大高哲也 杉山智志  
山田眞粧美 徳田雅彦 溝渕茂樹 清水義樹  
横山勝教 山本高広  
[事務局] 和田教育長 谷教育部長 高西学校教育課長  
國方所長 石川課長補佐 中村副主幹  
神野栄養教諭 澁谷学校栄養職員  
植村調理師 奥田調理師  
検討委員会運営支援関係者(小泉潤 大木智哉)
- 欠席者 [委 員] なし
- 傍聴者 なし
- 4 議 題 (1) 学校給食共同調理場施設の整備について  
(2) その他
- 5 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意 見 概 要
(事務局)	ただ今から、令和4年度さぬき市学校給食共同調理場施設整備検討委員会第2回会議を開催します。
	開会に当たりまして、山田委員長より御挨拶を申し上げます。
(委員長)	(挨拶)
(事務局)	議事に入る前に申し上げます。
	本日の会議は、公開の対象となります。また、議事録につきましても、さぬき市のホームページに掲載して公表することとなりますのでお知らせします。
	なお、本日は、傍聴希望者はいませんので御報告します。
	それでは、これより、次第に基づいて議事に入りますが、本日、委員10名全員に出席いただいておりますので、「さぬき市学校給食共同調理場施設整備検討委員会設置要綱第6条第2項」の規定により、会議が成立していることを御報告します。
	それでは、議事に入ります。設置要綱第6条第1項の規定により、委員長が議長となるとされておりますので、これより会議の進行を委員長にお願いします。

(議 長)	<p>それでは、次第に基づきまして議事を始めたいと思います。</p> <p>議題の（１）学校給食共同調理場の施設整備について、資料の第１章の説明を事務局にお願いします。</p>
(事務局)	(施設整備の基本方針について説明)
(議 長)	ただ今の説明につきまして、御質問があればお願いします。
(委 員)	(質問なし)
(議 長)	それでは、資料の第２章から第４章までの説明を事務局にお願いします。
(事務局)	(基本事項の整理、導入諸室および構成、事業手法について説明)
(議 長)	ただ今の説明につきまして、御質問があればお願いします。
(委 員)	今後、他の市町村も含めて児童生徒数が減少するとされていますが、今回計画している施設について、用途転換や他の施設との統合が将来的にありうるのかということについて、考え方を教えてください。
(事務局)	給食の提供食数が減少していくのは確実と思われますので、食数の減少に対応できる施設構成や調理器具の配置を行う必要があると考えています。
(議 長)	他にありましたら、お願いします。
(委 員)	給食センターの更新でP F I方式が採用されている割合はどのくらいなのでしょう。P F I方式を採用する場合に、事業期間を15年とすればコストメリットが出るのですが、調理業務等を委託し、15年間の事業期間終了後にそれらの業務が市に戻ってきた時に、施設の大規模改修に係る費用の負担も含め、市の負担が大きいのではないですか。また、当初の事業期間終了後に、P F I方式の採用実績があるのかどうか教えてください。
(事務局)	<p>全国的な採用の事例については、確認させていただきたいと思います。</p> <p>県内の事例を見ますと、今年9月に開設されました坂出市については、P F I方式を採用しています。それ以前の事例では、善通寺市・琴平町・多度津町の調理場、宇多津の調理場がP F I方式で整備されています。また、観音寺市と三木町については、現在、P F I方式での整備を進めているところです。</p> <p>15年間程度の事業期間の後どうするのかということについては、全国的な事例はまだ少ないものの、事業期間終了後は、引き続き長期の包括的な委託をするという事例が2例程あるようです。15年先の状況がどのようになっているかということは、なかなか不明確な部分もありますので、ある程度の想定ができる事業期間を設定することも考えられるのではないかと思います。</p>

(議 長)	他にありませんか。
(委 員)	VFM算定について、図4-2では、従来方式と比べてPFI方式を採った方が全体のコストが下がっていますが、理由を教えてください。全体の費用も変わってくるのでしょうか。
(事務局)	図4-2のVFMの考え方では、施設整備と維持運営費の両方の事業を行うことで、民間事業者の効率的な経営により全体コストが下がることとなります。具体的には、関連する諸企業が、施設を運営するための特別目的会社を設立して全体の最適化を図ることとなります。
(委 員)	今回提案を受けた施設整備の基本方針の中に、長期的に安定した学校給食の提供と食育及び地産地消の推進が掲げられています。PFI方式を採った場合、全体的なコストが下がるということは分かるのですが、直営の場合は、地場の産業の確保や地域の連携を図ることができるというメリットがあります。従いまして、施設整備の基本方針、又はPFI事業者選定の段階において、重視してほしい項目を明確にしておくということも必要かと考えます。地産地消にこだわると、食材を発注した場合、大きな事業者の場合は全国的な流通でコストを下げられますが、施設整備の基本方針と異なってくると思います
(事務局)	食育とか地産地消の推進については、たとえ調理業務を委託して行うことになっても、食材調達に関わることであり、市が責任をもって行うことが基本でありますので、基本方針の中に明確にして示す必要があると考えています。
(委 員)	建設予定地の住民の方への説明については、どう考えていますか。
(事務局)	今後、住民の方に説明する必要があると思います。具体的な時期については、今後検討していくということになるかと思います。
(委 員)	基本計画策定の段階で説明するのか、基本設計や実施設計の段階で説明するのかによって住民の方の対応が変わってくると思います。周辺にも少なからず影響があるかと思いますが、基本計画策定の段階で説明した方が、より理解を得やすいのかなと思います。
(事務局)	御意見ありがとうございます。実施の時期につきましては、今後、検討していきます。
(議 長)	御意見が他にありましたら、お願いします。
(委 員)	(意見なし)
(議 長)	それでは、以上で本日の議事を終了します。

<p>(事務局)</p>	<p>次回の会議につきましては、1月下旬を予定しています。内容につきましては、P F I 事業への参加意向調査の速報版の報告、今回よりも詳しい施設配置計画、施設建設計画案の検討を予定しています。開催日時については、後日改めて調整させていただきます。</p> <p>それでは、以上をもちまして、さぬき市学校給食共同調理場施設整備検討委員会第2回会議を終了します。ありがとうございました。</p>
--------------	--